

アジア 3 R 推進会議 注釈付きアジェンダ (10月26日時点)

第1日目 10月30日(月)

9:30～10:00 **開会セッション**
挨拶
若林正俊 環境大臣

会議開催の趣旨
環境省 由田秀人 廃棄物・リサイクル対策部長

会議の進め方
環境省 瀧口博明 廃棄物・リサイクル対策部 企画課 課長補佐

会議の目的：

アジアの多くの国において、廃棄物の発生量が増加し質も多様化している。また、廃棄物を含めた循環資源は国境を越えアジア地域のレベルで移動している。こうした状況において、アジア地域で3Rを推進するために、我々は何をすべきか。どのような協力が可能か。

10:00～10:50 **総括セッション：3R推進の必要性と取組**
基調講演
アジアにおける循環型社会の構築（20分）
国立環境研究所 森口祐一 循環型社会形成推進・廃棄物研究センター長

アジアにおける廃棄物の適正処理（20分）
アジア工科大学 Visvanathan 教授（仮）

Q & A（10分）

10:50～11:00 **休憩**

11:00～12:30 **国際機関及びドナー機関の取組**

UNEP/IETC における3Rの推進（10分）
国連環境計画国際環境技術センター（UNEP/IETC） Per Bakken 所長

UNEP の 3R に関する地域レベルでの取組 (10 分)

国連環境計画 アジア太平洋地域事務所 (UNEP/ROAP) 西宮洋 次長

3 R 国家戦略準備 (10 分)

国連地域開発センター (UNCRD) 小野川和延 所長

UNESCAP の 3R に対する取組 (10 分)

UNESCAP 市村雅一 主任

ADB の 3R に対する取組 (10 分)

アジア開発銀行 (ADB) 大村 卓 専門家

JICA の 3R に対する取組 (10 分)

国際協力機構 (JICA) 地球環境部 大久保恭子 チーム長

Q&A / ディスカッション (40 分)

論点:

現在、国際機関やドナー機関において、3R 推進のためのどのようなプロジェクトが進行中又は今後予定されているか。各国はどのような参加が可能か。

12:30 ~ 14:00 **昼 食**

14:00 ~ 15:30 **分科会セッション**

第 1 分科会：3R 推進のための連携と国際協力

インドネシアにおける 3R の実施 (10 分)

インドネシア環境省 Mohammad Helmy 氏、Tulus Laksono 氏

インドにおける廃棄物管理の状況 (10 分)

インド環境森林省汚染抑制局 Trivedi 副課長

南アジアにおける 3R 推進のための関係者間の連携 (10 分)

南アジア環境協力計画 (SACEP) A.A.Boaz 部長

自治体における 3 R の推進 (10 分)

名古屋市環境局 鬼頭文隆 ごみ減量部長

NGO の取組 (10 分)

アジアごみ問題研究会

ディスカッション (40 分)

論点 :

3 R 推進のために、国、地方自治体、企業、NGO 等の関係者はどのような取組を行っているか。関係者間の連携を図るために、何が求められているか。3 R を推進する上で、インフォーマルセクターをどのように位置づけ、連携していくべきか。

第 2 分科会：医療廃棄物対策

アジア地域の医療廃棄物問題とその対策 (20 分)

アジア工科大学 Visvanathan 教授

医療廃棄物対策における医師の取組 (15 分)

日本医師会 今村 聡 理事

中国における医療廃棄物対策 (15 分)

中国環境保護総局政策研究センター Zhou Guomei 環境経済課長

ディスカッション (40 分)

論点 :

各国は医療廃棄物に関してどのような問題を抱えているか。SARS や鳥インフルエンザへの対応においてどのような廃棄物の問題が生じ、どのように対応したか。廃棄物担当部局と病院や保健担当部局との連携は図られているか。

15:30 ~ 16:00 コーヒーブレイク

16:00 ~ 17:30 分科会セッション

第 1 分科会：3 R 推進のための連携と国際協力

3 R 推進のための国際協力 (10 分)

日本 環境省廃棄物・リサイクル対策部 紀村英俊 企画課長

ラオスにおける廃棄物対策（10分）

ラオス科学技術環境庁 Thevarack Phonekeo 国際協力課 副主任

カンボジアにおける廃棄物対策の現状（10分）

カンボジア環境省 Sarun Sambo 廃棄物・有害物質管理室 主任

3Rイニシアティブに向けた廃棄物特性とLCAの国際協定（10分）

スリランカ ペラデニヤ大学 Benedict Francis Antony Basnayake 教授

国際的な資源循環ネットワークの構築（10分）

富士ゼロックス(株) 生産本部付 渡辺富夫 参事

ディスカッション（40分）

論点：

3Rを国際的に推進するために、どのような国際協力が可能か。

中古機材の国際移転は、緊急性が高い廃棄物の適正処理に貢献することが可能か。

民間企業による国際的な資源循環ネットワークは地域での循環型社会構築にどのように貢献するか。あるいは、そうしたネットワークの課題とその対応策として何が挙げられるか。

第2分科会：医療廃棄物対策

途上国における医療廃棄物の処理技術（20分）

世界保健機構（WHO） カンボジア事務所 Mohd Nasir Hassan 環境技師

韓国における医療廃棄物処理の現状とその対策（15分）

韓国国立環境研究所 Gil Jong Oh 資源循環課長

ディスカッション（55分）

論点：

各国は医療廃棄物対策としてどのような措置を講じているか。成功例、失敗例を含めて、どのような経験が共有されるべきか。今後、アジア地域で医療

廃棄物対策を推進していくためにどのような協力が可能か。

18:00～19:30 **レセプション**

挨拶 土屋品子 環境副大臣

第2日目 10月31日(火)

9:30～11:30 分科会セッション

第3分科会：生ごみの3R

生ごみの3R推進(20分)

神戸大学 石川雅紀 教授

モルディブにおける廃棄物対策(15分)

モルディブ環境調査センター Ahmed Murthaza 地域環境協力課 担当

生ごみの分別・回収と肥料化(15分)

フィリピン環境天然資源省 Ana.B Cabatbat 環境管理局科学調査専門官

ブータンにおける廃棄物対策(15分)

ブータン国立環境委員会 Nado Rinchen 副委員長

ディスカッション(55分)

論点：

各国では、どのような生ごみ(*municipal organic waste*)が生じ、それらはどのように回収・運搬・処理・処分されているか。他のごみとの分別は行われているか。生ごみをリデュース・リサイクルするための障害は何か。その障害を克服するために、我々はどのような経験を共有できるか。

第4分科会：E-Waste対策

アジアにおけるE-Waste対策(15分)

国立環境研究所 寺園 淳 室長

アジア太平洋地域E-Wasteプロジェクトの概要(10分)

バーゼル条約事務局

E-Waste インベントリ作成に関する技術ガイドラインの進展(15分)

バーゼル条約インドネシア地域センター Aboejoewono Aboeprajitno 所長

中国における廃棄物回収の標準システム(10分)

中国国立規格研究所 Lin Ling 助教授、Zhang Xin 技師

アジアにおける携帯電話のリサイクルネットワーク（10分）

DOWA エコシステム(株) 企画室 仲 雅之 担当部長

ディスカッション（30分）

論点：

各国では、どのような種類の E-Waste が生じ、それはどのような問題を起こしているか。その問題の解決のための、バーゼル条約のプロジェクトは、現在どのような進捗状況にあり、今後どのような点を重視していくべきか。E-Waste 対策のために、民間企業も巻き込んでどのような国際協力が可能か。

11:30～12:00 **サイドイベント：アジアにおける浄化槽普及のポテンシャル**

日本の浄化槽システムとその制度

(財)日本環境整備教育センター 小川 浩 主幹

アジアにおける浄化槽普及のための課題と展望

(社)海外環境協力センター 森 一晃 企画部長

12:00～13:30 **昼 食**

13:30～15:30 **分科会セッション**

第3分科会：生ごみの3R

バイオエネルギー回収の取組（20分）

Bio-energy Recovery Challenge

京都大学 酒井伸一 教授

家庭ごみのコンポスト化と生ごみのリサイクル（15分）

スリランカ環境庁 H.S.Premachandra 副部長

韓国における生ごみのリサイクル（15分）

韓国環境省 Joon Ki Kim 都市廃棄物管理課 副課長

各国における生ごみのリサイクル（15分）

未定

ディスカッション（55分）

論点：

各国では、どのような生ごみのリサイクルが行われているか。その課題と克服策は何か。生ごみからバイオエネルギーを回収する成功例、失敗例はあるか。地球温暖化対策とのシナジーも含めて、今後生ごみを資源としてどう活用していくべきか。

第4分科会：E-Waste対策

国際的な資源循環と家電リサイクル法の見直し状況（20分）

慶応大学 細田 衛二 教授

E-Waste リサイクルに関する韓国の政策（15分）

韓国環境省 II Ho Park 資源リサイクル課長

中国における E-Waste 対策（15分）

中国環境保護総局政策研究センター Zhou Guomei 環境経済課長

E-Waste 対策に関するタイの経験（15分）

タイ 電気電子研究所 Charuek Hengrasamee 所長

国際的に調和がとれた EPR の検討（15分）

国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）/地球環境研究戦略機関（IGES）

ディスカッション（40分）

論点：

各国では、E-Waste についてどのような対策を講じているか。特に、家電製品のリサイクルについてどのような制度を有しているか。その実績はどうか。課題は何か。今後、国境を越えた E-Waste 問題に対処するために、どのような連携が必要か。その際に EPR の適用をどのように考えるべきか。

15:30～16:00 **コーヒーブレイク**

16:00～17:30 **総括セッション**
各セッションからの報告

第1分科会(10分)

第2分科会(10分)

第3分科会(10分)

第4分科会(10分)

ディスカッション(50分)

論点:

各分科会の報告を踏まえ、アジアで3Rを推進していくために何をすべきか。

第3日目 11月1日(水)

9:30～11:50 **総括セッション：今後のアジア地域での3R推進**
議長サマリー案についてディスカッション（110分）

全国環境衛生大会特別企画シンポジウム「3Rに向けてのアジア地域の
挑戦」の報告（20分）
岡山大学 田中勝教授

オブザーバー（G8各国）からのコメント（10分）

NGOからのコメント（10分）

11:50～12:00 **閉会セッション**
閉会挨拶 北川知克 環境大臣政務官

閉 会

12:00～13:30 **昼 食**

午 後 **視 察**
廃棄物処理及び感染性医療廃棄物処理
東京臨海リサイクルパワー株式会社

11月1日午後に、3Rナレッジハブの構築についてUNEP、ADB、ESCAPの主催により打合せを開催予定。